

RENTAL 九州

2018 Vol.45

創立50周年記念特集号



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会九州支部

ホームページ <http://klr-rental.jp> メールアドレス klr@klr-rental.jp

SUMITOMO

限界突破!

燃費、働き、安全、そのすべてが、かつてない領域へ。

新型レジェスト 「後方超小旋回」誕生。

未来の現場をリードし、これからのビジネスに立ち向かうために。
住友建機のレジェストは、自らの限界を超える進化をここに極めました。
社会環境へのさらなる調和はもとより、
使う経営者にも、操る人たちにも、最高と呼べる性能を凝縮して。
かつてない新次元の働きが、次のステージの扉を開きます。

LEGEST

SH125X/SH135X/SH235X
後方超小旋回ショベル

オフロード法 2014年基準適合車 写真はオプション装着車

住友建機販売株式会社 九州統括部

〒811-2111 福岡県糟屋郡須恵町大字新原78-1 2F
TEL.092-934-0058 FAX.092-934-0121

カスタマーサポートグループ

〒811-2111 福岡県糟屋郡須恵町大字新原78-1 2F
TEL.092-934-0126 FAX.092-934-0129

福岡支店

〒811-2111 福岡県糟屋郡須恵町大字新原78-1
TEL.092-932-0575 FAX.092-932-3033

北九州営業所

〒803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町61番16
TEL.093-581-2540 FAX.093-581-9851

福岡南営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-4
TEL.0942-82-2178 FAX.0942-84-1774

西九州支店

〒849-2102 佐賀県杵島郡大町町大字福母383番地2
TEL.0952-82-3131 FAX.0952-82-5864

長崎営業所

〒859-3616 長崎県東彼杵郡川棚町白石郷7番地
TEL.0956-82-3191 FAX.0956-82-3193

大分支店

〒870-0018 大分県大分市豊海5丁目4番17号
TEL.097-533-2371 FAX.097-533-2385

熊本支店

〒861-8035 熊本県熊本市東区御領6-1-46
TEL.096-380-0013 FAX.096-380-0009

宮崎支店

〒885-0004 宮崎県都城市都北町7413
TEL.0986-38-4003 FAX.0986-38-4525

鹿児島支店

〒891-0132 鹿児島県鹿児島市七ツ島1丁目4番15号
TEL.099-261-0300 FAX.099-261-0346

沖縄営業所

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖1-33-1 牧港建設館2ビル405号室
TEL.098-875-0545 FAX.098-875-0546

www.sumitomokenki.co.jp

建設機械のことなら建機レンタルNavi

建機レンタルNavi

建機レンタルNaviは、全国の建設機械利用者様に対してレンタルの情報をインターネットを通じてお届けすることで、建機レンタル事業者様のビジネス拡大をお手伝いいたします。

POINT 1 多くの会社が集まることでビジネスチャンスが広がる!

- さまざまなレンタルの情報を一箇所にまとめて提供。地域の建機レンタルの情報を簡単に検索して頂けます。

POINT 2 無料で簡単にホームページが持てる!

- 地域を越えて情報発信できます。
- ホームページを持つことで、自社の認知度・信用力アップ!
- 既にお持ちのホームページとの連携で、更なる集客も!

POINT 3 便利な営業支援機能!

- 登録事業者様向けの営業を支援するオプション機能を順次ご提供! 事業者様のビジネス拡大・営業効率化を支援します。



スマートフォンでも利用可能



建機レンタルNaviサイト <http://www.kenki-navi.com/>

掲載企業募集中!! 掲載無料

お問合せは ☎ 0120-977-671 ✉ kenki-navi@nsd.co.jp



NSDの建機レンタルシステムソリューション

「使える・選べる」システムで、会社が変わる



NSDの建機レンタルシステムは、各種レンタル業の幅広いお客様にご利用頂いております!

クラウド型サービス

お客様所有型サービス



クラウド版レンタル業向け業務管理システム

簡単導入・低価格!

インターネット経由でシステムを利用することで、サーバや特別なソフトを必要とせず、豊富な機能をすぐにお使い頂けます!



建設機械・仮設資材レンタルシステム

お客様の業務に合わせて、きめ細かく対応! お客様の社内に専用のシステムを構築することで、現場の多彩な要望にもお答えできます!



【本社】〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101 ワテラストワー
 【大阪支社】〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ
 【名古屋支社】〒451-6005 愛知県名古屋市中区牛島6-1 名古屋ルーセントタワー
 【福岡事業所】〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル

●お問合せ専用/フリーダイヤル0120-977-671 ※携帯電話からもご利用頂けます

詳しくは「NSD レンタル」で検索!

URL <http://www.nsd.co.jp/> E-mail rental@nsd.co.jp





事故“ゼロ”を目指して。



コベルコ建機は、いま現場が抱える安全対策を解決するため、
建機業界初となる衝突軽減システム「K-EYE PRO」を開発しました。
人や障害物を検知すると、自動で減速、停止。
最先端のテクノロジーで、働く人を選ばない次世代の現場を、ともに作ります。



RENTAL 九州

Vol.45

目次

表紙

支部長挨拶

九州支部長 中野 登 1

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会 会長挨拶

会長 角口 賀敏 2

第5回 定期総会開催 3~4

支部・賛助会だより

福岡県支部 藤井 正 5~6

長崎県支部 臼木 琢哉 7~8

熊本県支部 青木 浩二 9~10

大分県支部 財前 薫 11~13

宮崎県支部 伊豆 隆夫 14

鹿児島県支部 宮内 宏智 15~17

賛助部会 小笠原 茂 18

協会創立50周年事業 19~33

協会からのお知らせ 34~39

オピニオン

「七つの習慣」

ユアサ商事(株) 北出 貴久 40

「大規模津波防災総合訓練」

(株)キング 伊豆 隆夫 41~42

「チビ軍曹と昆虫先生」

ニチドウ(株) 田川 大介 43~44

カメラ散歩

鹿児島県 鹿屋市 45~46

おすすめスポット

福岡県 宗像・沖ノ島と関連遺産群 47~48

新規会員紹介

(株)ハイツカ(鹿児島県支部) 49~50

北部九州豪雨災害 51~52

健康一口メモ

インフルエンザの豆知識 53~54

会員消息 55~56

随筆

「人間五十年」佐藤 末喜 57~58

会員名簿 60~94

広告掲載協力会社名一覧 95~96

編集後記 97





平成30年 年頭所感

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

九州支部長 中野 登

明けましておめでとうございます。平成30年の新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、当九州支部の諸事業運営にご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

現状の日本は地方経済の景況感の改善は続いており、少子高齢化の流れと直近の人手不足のなかで、安倍政権による働き方改革、ゆとりの有る豊かな生活環境作りという先進国としての新しい位置づけを作ろうとする政策が立案されていますが、地方経済、特に我々の業界を取り巻く環境はまだまだ厳しいと考えています。

平成29年度建機レンタル業実態調査によりますと、我々協会加入のレンタル業の売上規模は昨年に比べ減少傾向の結果が出ていますが、それぞれ地域での地場業者、広域、メーカー系との関係、貸し出し機械の機種等の分析まで掘り下げると、売上の内容はかなり変化していると考えられます。

地方の我々は創意工夫をすることで、厳しい環境を乗り切っていく、地域に根をはったレンタル業を目指すべく努力していこうと考えています。

さて、我々九州支部では今年度の総会時、50周年の節目の年として、ここまで育てていただいた歴史基盤を次の時代に継承するための式典を九州全会員、賛助会員と共に行い、

一つの節目を無事終えることが出来ました。年間計画での、各関係機関との各種協定の継続に加え、各県部会での新たな協定推進へのアドバイスを行い、さらなる進化を続けたいと考えております。

また、事業としてi-Construction推進のため設立された産学官推進会議への参加、i-Constructionの勉強会（ICTを含めた業界の働き方改革、機械での無人化施工など）、大手広域との懇談会、管理者教育講習会、本部取りまとめ中の登録制度、そして九州地方整備局（11月5日津波防災の日）の総合防災訓練への参加（宮崎で行われたため宮崎部会による機械展示と役員参加）などを行いました。

このような行事を通じて我々レンタル業がそれぞれの地域で土木業界、災害等での一翼をになうためになくてはならない存在であり、地域、行政、お客様の良きパートナーになることを目指し九州支部全会員で取り組む1年としたいと考えております。

共に情報を共有し魅力の有る業界づくりを目指しましょう。

今年度もよろしくお祈りいたします。





平成30年 年頭所感

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

会長(代表理事) 角口 賀 敏

平成30年(2018年)の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内景気は、「緩やかな回復基調が続いている」との景気判断が長期化しており、実感はあまり伴わないものの、高度成長期の「いざなぎ景気」の57ヶ月を抜いた可能性も示されるに至っております。このような中、企業収益も大企業を中心に改善しており、地域や中小・小規模事業者にも経済の好循環が拡大することが期待されます。

私も建設機械レンタル業界については、首都圏においては、東京オリンピック・パラリンピック関連工事や大規模再開発等による活況が見られますが、地方では温度差が感じられるところです。そうした中、平成28年のレンタル市場規模は、本会調査では前年比1,300億円減の約1兆2,200億円と推定しております。また、建設投資見通しについても、建設経済研究所が昨年10月に公表したところでは、平成29年度は前年度比1.4%増の53兆2,300億円、さらに、平成30年度は前年度比3.2%減の51兆5,500億円となっています。何れも50兆円台の建設投資を見込んでおり、短期的には経営環境は好転しているものと考えておりますが、一方、これらの特需後を見据えた、中長期の経営戦略や経営計画に留意することが求められるところです。

次に、災害につきましては、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨などの災害が頻発する中、切迫する巨大地震・津波や激甚化する気象災害から国民の安心・安全を確保するための防災・減災対策等が差し迫った課題となっています。このような状況の中、建設機

械レンタル業は、災害時の復旧・復興には、その保有する建設機械器具や備品類が欠かれない状況になっていることから、社会的責務として、国や地域自治体との連携を確保しつつ、これらの活動に積極的に協力してまいることとしております。

平成も30年を迎えましたが、その多くが昭和40年代の高度成長期に誕生し、若い産業と言われてきた建機レンタル業も、半世紀を経過し、現在、ユーザーである建設企業の使用する建設機械の6割以上を担うに至っております。

こうした中で、本業界は大きな変革期を迎えていると考えており、(1)建機レンタル業界の社会的信用の向上とレベルアップ及びユーザーの便宜を図ることを目的とした、協会独自の業者登録制度の創設並びに、本登録制度に併せた、レンタル拠点の営業所長を対象とする新たな資格制度の実施、(2)国土交通省が拡大推進する、全ての建設生産プロセスでICT等を活用する「i-Construction」(建設現場の生産性向上)への着実な対応、(3)少子高齢化の進展に伴う若年層の人材不足等を踏まえ、魅力ある建機レンタル業を目指した労働条件の改善を始めとした働き方の見直し等の課題に、積極的に取り組み、推進していくことにより、業界の健全な発展及び社会的地位と認知度の向上を目指してまいり所存です。

結びに、これからも、建設機械レンタル業が「信頼される業界」と言っていただけのように努めてまいりたいと存じますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年になりますことをご祈念申し上げます。

第5回 定期総会

(一社)日本建設機械レンタル協会九州支部の定期総会は、平成29年6月6日午後2時よりホテル日航熊本(熊本市中央区)にて賛助会員も含めて行われた。

出席会員は74社(内委任状提出数35社)であった。萩原理事(株名九建設機械)の司会のもと、永島副支部長(熊本中央リース株)の開会の辞で始まった。

中野支部長より挨拶があり、「大地震があった熊本で総会を行う事ができお礼を申し上げたい。九州の建設業は今がピークなのかこれからも伸びて行くのか不透明な中、また働き方改革などいろいろな課題がある中いろいろたいへんだが協会として会員92社でやっていきたい」という挨拶があった。



永島副支部長



中野支部長

次いで事務局より協会本部、中国、四国、沖縄各協会長からの祝電披露を行った。

議案審議に先立ち、加治総務企画委員長(株力ネイチ)を議長に選出し議長から議事録署名人として中園理事(株シヨージ)、井上理事(株井上建機リース)の二名を指名し承認された。



加治総務企画委員長

議案は以下の5議案が上程された。

- 第1号議案 平成28年度事業報告
- 第2号議案 平成28年度 収支決算報告・財産目録報告・監査報告
- 第3号議案 平成29年度事業計画
- 第4号議案 平成29年度収支報告
- 第5号議案 役員の補充変更に関する件

監査結果報告は前川監事より行われ、すべて全会一致で承認された。



前川幹事

峰平副支部長（株森谷リース）が閉会の辞を述べ、総会審議事項をすべて終了した。



峰平副支部長

続いて永年勤続優秀社員表彰が行われ、20年以上勤務優秀社員14社24名、10年以上勤務優秀社員14社24名に対し、中野支部長より感謝状並びに記念品が贈呈された。



今年度より新しく賛助会員となった丸中ゴム工業(株)の虻川社長、岩本常務より入会挨拶が行われた。



また今年度は賛助会の役員が3名とも変わり、新しく就任した会長の小笠原 茂氏（ユアサ商事(株)）、副会長の本島秀章氏（北越工業(株)）、西田直彰氏（デンヨー(株)）より挨拶が行われた。

以上で定期総会は滞りなく終了した。



今年度の福岡県の活動は以下の通りです。

■平成29年度活動

- 5月16日(火) 第1回役員会
- 5月16日(火) 総会
- 7月14日(金) 第2回役員会
- 8月24日(木) 代表者懇談会
- 10月25日(水) 第3回役員会
- 11月14日(火) BCP講習会
- 12月19日(火) 第4回役員会
- 12月19日(火) 第2回代表者懇談会

主なトピックスについてご報告いたします。

第2回役員会

7月14日協会事務所にて開催しました。



7月5日～6日にかけて九州北部豪雨が発生し、福岡県では朝倉、東峰村中心に大変な被害がでました。

役員会では太田会長より、何かすることはないだろうかの問いかけがあり、役員でいろいろ意見を出し合いました。協会の関係で被害に遭ったのは3～4社ですが多くの方が被災されており、必要とされるものを必要な人に渡すことの難しさや、必要なものが揃えられるのかというようなこと、物よりはボランティアのようなことを考えた方がいいのではなどいろいろ意見がでましたが協会として何をすべきかということについてはまとまりませんでした。ただ、こういう災害があったということに心を留めてやっていくことが重要だということで会員間のつながりを強くする活動をよりやっていこうという事に

なりました。

代表者懇談会

8月24日(木)に福岡市博多区にある、鍋処いずみ田にて暑気払いを兼ねて代表者懇談会を実施しました。19社27名と多くの参加をいただき、体がふれあうぐらい会場いっぱい非常に盛り上がり懇親を深めました。



BCP講習会

11月14日(火)に福岡市博多区にあるリファレンス大博多会議室にて、協会主催の講習会を実施しました。9社15名の参加者で、BCP(Business Continue Plan-事業継続計画)について学びました。

太田会長よりいざという時のためにもこういう事を知っておくことが重要だという挨拶の後、東京海上日動 福岡支社長代理の藤本様と東京海上日動リスクコンサルティング 主席研究員の奥田様に講義を行っていただきました。

BCPを考える上では、地震を想定すればそれ以外の大雨や事故などにも対応できるということで基本的な考え方や自社向けに作る上での注意点などを学びました。

終了後の懇親会では、講師の方含めて意見交換することができました。



第2回代表者懇談会

12月19日(火)忘年会も兼ねて、福岡市春吉にあるはる好し庭にて第2回代表者懇談会を実施しました。年末近くにもかかわらず16社24名の参加があり、健康で元気に来年を迎えようということで、大いに盛り上がりました。



(株)日商機械の姫野社長も大阪からご参加頂きました。



長崎県支部活動報告

長崎県支部では、恒例となりました「ボウリング大会」を今年も開催し、会員間のさらなる親睦を深めるとともに、「長崎管理者講習会」ではコマツ IOTセンタ九州様にご協力頂き「i-Construction」についての勉強会を開催致しました。また、大村市上下水道局との災害協定への取り組みやDOVOCフェアへの参加など、会員間の親睦を深めるとともに協会のPRに努めてまいりました。

◆定時総会・定例会

下記の日程にて定期総会・定例会を開催いたしました。

【平成29年度 定例会】

第1回定例会 平成29年5月12日(金)
長崎バスターミナルホテル 第2会議室

- 50周年記念式典について
- 日本建設機械レンタル協会の活動報告
- 年間スケジュールについて
- その他

第2回定例会 平成29年7月5日(水)
時津ヤスタオーシャンホテル 会議室

- 大村市上下水道局との災害協定の件
- 第1回九州役員報告
- 50周年記念行事決算報告(長崎部会)
- ボウリング大会について
- その他

第3回定例会 平成29年9月26日(火)
時津ヤスタオーシャンホテル 会議室

- 第2回九州役員会報告
- 大村市上下水道局との災害協定締結の件
- 勉強会について
- 忘年会について
- その他

第4回定例会 平成29年12月5日(火)
大村セントラルホテル 会議室

- 第3回九州役員会報告
- 長崎管理者講習会の報告

- 県支部活動報告(協会PR活動等)
- その他



■定例会

【平成29年度 第36回定時総会】

定期総会 平成29年5月12日(金)
長崎バスターミナルホテル 第2会議室

◆レクリエーション・管理者講習

下記の日程にて、会員相互の親睦を深めるべく「第9回ボウリング大会」を開催致しました。

また、講習会事業では福岡県にありますコマツ IOTセンタ九州様にご協力頂き国土交通省新基準「i-Construction」についての勉強会を開催いたしました。遠方にも関わらず多くの方にご参加いただき、最新の技術について学び、実機体験をさせていただきました。勉強会を通してレンタル業者としての知識を深めるとともに、これからどのような建設機械が求められるようになるのかを考える機会となりました。

【平成29年度】

平成29年7月16日(日) ボウリング大会

参加人数 59名

開催地 長崎ラッキーボール

団体の部優勝：本気と書いてマジ チーム
(グローバル建機(株))

個人の部優勝：浦 裕次

(グローバル建機(株))



■ボウリング大会



◆広報活動

平成29年11月11日(土)長崎県「土木の日」実行委員会が主催する「DOVOCフェア2017」に本年度も協力致しました。

毎年恒例となっています操作体験コーナーですが、今年も約160名と多くの方にご来場いただき盛り上がりを見せていました。協会のPRはもちろんですが、体験をした子供たちが土木建築業界への興味を持つきっかけになり業界がさらに盛り上がることを期待しています。



■DOVOCフェア2017

平成29年11月22日(水)「長崎管理者講習会」

開催地 コマツIoTセンタ九州

- 内容 ① i-Construction 施工 (座学)
② i-Construction 施工 (実地体験)



■管理者講習



■管理者講習

◆忘年会・ゴルフコンペ

平成29年12月5日(火)「忘年会」

開催地 天然温泉大村ゆの華

平成29年12月6日(水)「ゴルフコンペ」

開催地 大村湾カントリー倶楽部オールドコース

参加者 4組16名

優勝 : 中島 悟 (東洋リース(株))

準優勝: 川島 稔 (九州日野自動車(株))



■ゴルフコンペ



【新春賀詞交歓会】

平成29年1月13日(金曜日) KKRホテル熊本にて新年賀詞交換会を行いました。



【春季懇親会】

3月24日(金曜日) ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、定例会並びに春季懇親会を行いました。

定例会では、あの熊本地震を体験した一年を振り返り、懇親会では春の移動で地区担当を外れたり、新たに赴任されたり退職される賛助会員方々との交流を行いました。

萩原支部長のあいさつののち、クボタ建機ジャパンの前田部長様の乾杯で、総勢42名にて大いに盛り上がりました。



【平成29年度 通常総会】

6月22日(木曜日) 菊池グランドホテルにて通常総会を開催いたしました。

平成28年度事業報告、収支決算報告・監査報告ならびに、平成29年度事業計画が審議され可決されま

した。

総会前のゴルフコンペ、総会後の懇親会は久しぶりの温泉旅館にて会員、賛助会員総勢37名による懇親会が夜遅くまで、行われました。



【ボウリング大会】

9月3日(日曜日) パスカワールド宇土店にて、ボウリング大会が開催されました。総勢120名30チームによる熱戦が行われました。

優勝は、三和リースAチーム、2位 クマチュウAチーム、3位 二代目ワタナベAチーム。個人の部は男子、山下様(熊本中央リース*398)、女子は藤田様(レデモ*331HD)。家族の方々やお子さんもいっぱい来られ、楽しいボウリング大会となりました。



【建設機械2級整備士試験前講習】

建設機械2級整備士試験に、今年は3名合格いたしました。

【東京 建設現場視察旅行】



11月5日から7日の2泊3日にて、東京オリンピックに向けて行われているの建設現場を視察へ行きました。



【定例会・忘年会】

11月24日(金曜日) ホテル日航熊本にて忘年会を開催いたしました。

今年は、忘年会の前に次年度課題検討会を行いました。6グループに分けてグループディスカッションにより、討論が行われました。

PM 18:00より萩原支部長から『熊本地震後の復興によるレンタル機の需要増の中、会員及び賛助会への横のつながりを強固なものとする』と挨拶が行われました。

乾杯後は、玉名カントリークラブで行われました親和会ゴルフコンペの表彰式が行われ、会員15名、賛助会26名 合計41名にて、一年間の締めめの懇親会が楽しく開催されました。



平成29年4月11日(火)、大分県協会役員会および会員会議が、大分県交通会館会議室において行われました。

平成29年5月9日(火)、大分県協会会計監査が、大分県交通会館事務局において行われました。

平成29年5月23日(火)、大分オアシスタワーホテルにおいて、平成29年度通常総会が開催され、議案につきましても、すべて承認されました。総会後の講



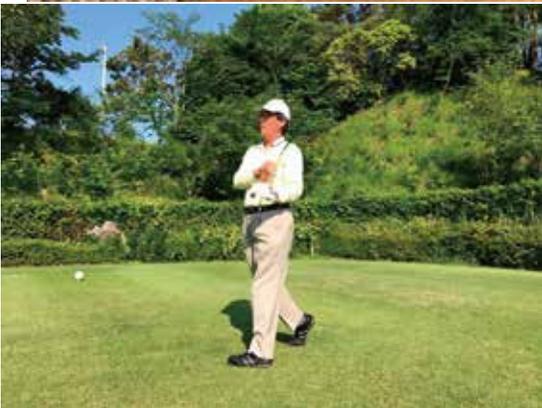
演では、大分県農林水産部畜産振興課の河野泰三様より、「特定家畜伝染病防疫対策について」の講話を頂きました。総会に先立って行われた親睦チャリティゴルフコンペでは、前回を上回る20名が参加し、天候にも恵まれ、さわやかなゴルフを楽しみました。夜に開かれた表彰式・懇親会では、財前会長がなんと三連覇を達成されました。プレーをしなかった方も多数ご参加いただき、大変なにぎわい様でした。

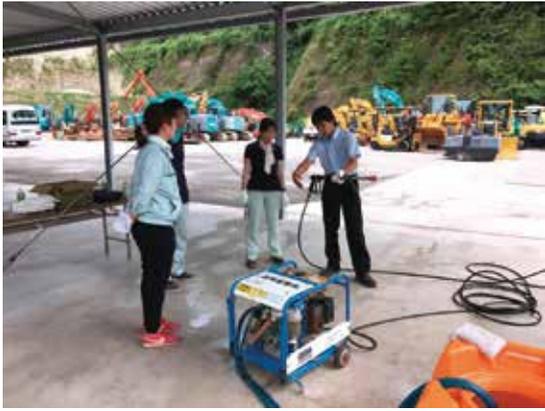
平成29年6月13日(火)、大分県庁にて、官民連携による災害対策ネットワーク会議に参加しました。

平成29年6月15日(木)、5月総会懇親会でご協力戴いた募金を、日本赤十字社大分県支部へ義援金として寄付しました。

平成29年8月2日(水)、大分県協会役員会および会員会議が大分県交通会館会議室において行われました。

平成29年8月4日(金)、国東重販(株)本社にて、特定





家畜伝染病防疫対策チーム（B-SAT）の研修が行われました。実際の機器の操作はもちろん、今回はロープの荷締めなど、より実践的な研修になりました。やまびこ産業機械㈱の西原様も来て頂き、より細やかな説明ができたと思います。暑い中ではありましたが、皆さん一生懸命頑張っていました。中野副会長からのジュースの差入れ、ありがとうございました。

平成29年10月7日(土)、大分市タワーボールにて親睦ボーリング大会が行われました。今年は13チーム52名が、チームの名誉をかけて頑張りました。前回



の36名に比べ、1.5倍の人数となり大変盛り上がりました。優勝はチーム日立建機様、個人優勝も同チーム鬼塚敦吉様でした。豊の国健康ランドで行われた懇親会・表彰式も和気あいあいと、交流が深まったと思います。また今年も、各会社の新入・若手社員が多数ご参加戴きました。

平成29年10月18日(水)、大分県特定家畜伝染病対策防疫訓練が行われました。実地演習会場の豊後北部家畜市場に、防疫演習にかかる様々な資機材を搬入しました。ときおり小雨の降る天気でしたが、精度の高い初動防疫作業が確認出来ました。また今回は、多くの見学者がいらっしやっていました。

平成29年11月28日(火)、大分オアシスタワーホテルにおいて、大分県協会親睦チャリティーゴルフコンペ・講習会・忘年親睦会が行われました。ゴルフコンペでは、心配していた天候も持ち直し、大変楽しくプレーできました。(皆様の日頃の行いですね!)

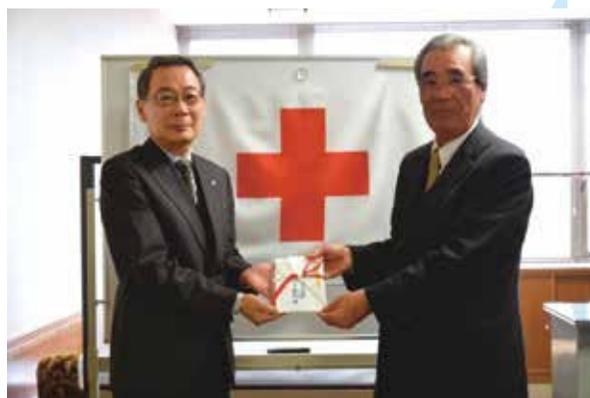
講習会は大分県警本部より、刑事部捜査第二課の岡田英一様にお越し頂き、「特殊詐欺の現状」について講話を戴きました。中々根絶の難しい特殊詐欺の被害ややり口を、とても分かりやすく教えて頂きました。



忘年会・ゴルフコンペ表彰式では、ついに財前会長の四連覇を阻み、(有)中央リースの藤井寛治様が優勝を勝ち取りました。誠におめでとうございます。恒例のチャリティーも、皆様大変な男気を見せていました。また北部九州豪雨災害で被災された、(株)ワイケティリース様に協会より見舞金がでていました。



平成29年12月5日(火)、忘年会・ゴルフコンペ表彰式でご協力頂いた募金を、日本赤十字社大分県支部へ「平成29年台風18号災害」の義援金として寄付しました。平成16年12月より始まったこの募金も20回をこえ、毎年かかさず行った寄付金総額は100万円を上回っており、今後も継続して皆様に協力をお願いしたいと思います。この募金は毎年の締めとしてふさわしく、協会員としても嬉しく思いました。



【宮崎県建設機械器具リース業協会第33回定期総会】

(開催日：平成29年6月22日)

- (1) 平成28年度決算及び事業活動報告
- (2) 平成29年度予算及び事業計画案
- (3) その他



◆後藤会長挨拶



◆審議風景

《後藤会長挨拶の要旨》

レンタル業における近年の大きな課題として、
▽需要が減少する中で供給の調整が進まず貸出単価

が下落したこと ▽メーカーの品質向上や法規制への対応に伴い製品の単価が高まっていること
▽i-Constructionの推進に伴いICT建機等へのリクエストが増えていること一などが挙げられます。

各社共通であるこれらの課題に対し、個々での対応は難しくとも、協会を挙げて取り組んでいくことで、将来的には課題が希望に変化する可能性があります。「ライバルとして互いに切磋琢磨しつつ、共通の課題に対しては知恵と工夫を持ち寄り、一致団結して課題を克服する道を進んでいきましょう。」

□平成29年度事業計画

- (1) 会員相互の連携強化

■代表者会議・情報交換会・勉強会・親睦回答の開催

- (2) レンタル取引正常化への取組み

■適正な競争のもとに、企業として存続可能な取引の再構築に取り組む。

- (3) その他



【宮崎県建設産業団体連合会事務局会議(意見交換会)】

(開催日：平成29年9月12日)

宮崎県リース業協会・宮崎県建設業協会等正会員26団体が直面する課題に関し広く意見を求め、行政へ要望活動をおこす。

- ▶公共工事予算の確保
- ▶担い手の確保・育成に対する産学官の連携強化
- ▶働き方改革への対応…週休2日に向けた環境整備・発注や施工時期の平準化

レンタル業界からは、①レンタル単価の改善
②排ガス対策建設機械の利用 ③地元レンタル会社の利用等の要望のほか、i-CONSTRUCTION(ICT建機)への対応については、レンタル会社・施工業者・測量業者及び行政が一体となって取り組むことを提言しました。

鹿児島支部の28年度活動です。

- 4月27日 総会
- 6月23日～25日 研修旅行【東京】
- 7月10日 建設機械整備技能検定 実技事前講習
- 8月19日 建設機械整備技能検定 学科事前講習
- 8月8日 鹿児島市内にて暑気払い
- 10月16日 スポーツ大会・ゴルフ、レンタル杯
- 12月7日 AGO会ゴルフ
- 12月7日 忘年会

4月21日 総会並びにAGO会ゴルフコンペを開催

- AGO会ゴルフコンペ：雨天中止
- 第34回総会

会員、賛助会員合わせ55名の参加で、会は厳粛に執り行われました。平成28年度事業活動報告・収支決算報告、続いて平成29年度事業活動(案)など色々な意見交換がなされ、承認されました。



7月9日、8月7日 建設機械整備技能事前講習

例年通りではございますが、建設機械整備技能士の資格普及を図るため、今年で5回目を迎えました。会員以外の受講生を今年は遠慮いたしました。会員であるメリット、支部での統一を目指す為今年よ

り実施いたしました。

- 7月9日 実技受講 10名
- 8月19日 学科受講 10名

研修旅行 IN 東京

正会員7名、賛助会員1名で研修実施。



○懇親会は屋形船



○寅さんと



○八重洲



○銀ブラ（銀座）



7月暑気払い



旅行の思い出

○国立競技場



○銀座ライオン



10月15日 スポーツ大会・ゴルフ、レンタル杯

各社、従業員、賛助会員 合わせて24名参加
 優勝 クボタ建機(株) 西 隆也様
 準優勝 宮内機械(有) 宮内 宏智様
 3位 伊集院機工(株) 有村 徹也様

○横浜赤レンガ倉庫横



○横浜赤レンガ倉庫横、北朝鮮船



表彰式



○横浜中華街



リース業協会 東京研修

<https://www.youtube.com/watch?v=C6LTQIEmRCA&t=120s>



鹿児島県部会 事業取組み報告

(レンタル業界で働いてみませんか?)

鹿児島県部会では、就職説明会・学校訪問時に下記のパンフレットを作成し求人をお願い致しました

一緒に
建設機械
レンタル業界で
働いてみませんか?



1 (有)伊集院機工 099-273-0070 鹿児島県白鷲市伊集院町更生田47	2 太田機工(株) 0996-22-6191 鹿児島県薩摩川内市宮崎町1933	3 (株)カネイチ 099-261-7676 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-1-13	4 近畿機械産業(株) 099-238-0711 鹿児島県鹿児島市犬迫町10681
5 国内建機(株) 099-261-9090 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-1-15	6 サニー電機工業(株) 099-261-9932 鹿児島県鹿児島市谷山道2丁目5-12	7 (株)ショージ 099-261-0007 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-1-14	8 新日本建販(株) 099-260-7522 鹿児島県鹿児島市中山町952-1
9 第一機械産業(株) 0994-44-2480 鹿児島県薩摩市笠之原町25-10	10 東洋リース(株) 0997-54-1040 鹿児島県名瀬市浦上町1111	11 (株)ハイツカ 0996-84-2529 鹿児島県出水市野田町下名字森町217-1	12 (株)ユーコー 0997-69-2266 鹿児島県奄美市住用町大字神原1番地
13 宮内機械(有) 0994-72-1446 鹿児島県志布志市志布志町3-5-28			

賛助部会の活動報告

- ① 4月10日 賛助部会総会開催 23社 26名様参加

八仙閣において、賛助部会総会を開催致しました。

活動報告・決算報告・役員改選・活動予定、予算案等討議致しました。

賛助部会役員紹介

賛助部 会長 小笠原 茂 (ユアサ商事(株)建機本部)

〃 副会長 本島 秀章 (北越工業(株)九州支店)

〃 副会長 西田 直彰 (デンヨー(株)九州営業所)

- ② 4月21日 平成29年度 50周年事業合同会議参加

八仙閣 銀香梅にて

- ③ 6月6日 日本建設機械レンタル協会九州支部第5回定期総会

九州建設機械器具リース業協会設立50周年記念式典

- ④ 7月21日 広報委員会参加

今年も、会員様のお役に立てる活動を心掛けて参ります。



九州建設機械器具業協会創立50周年記念祝賀会



九州支部会員一覧

■福岡県支部

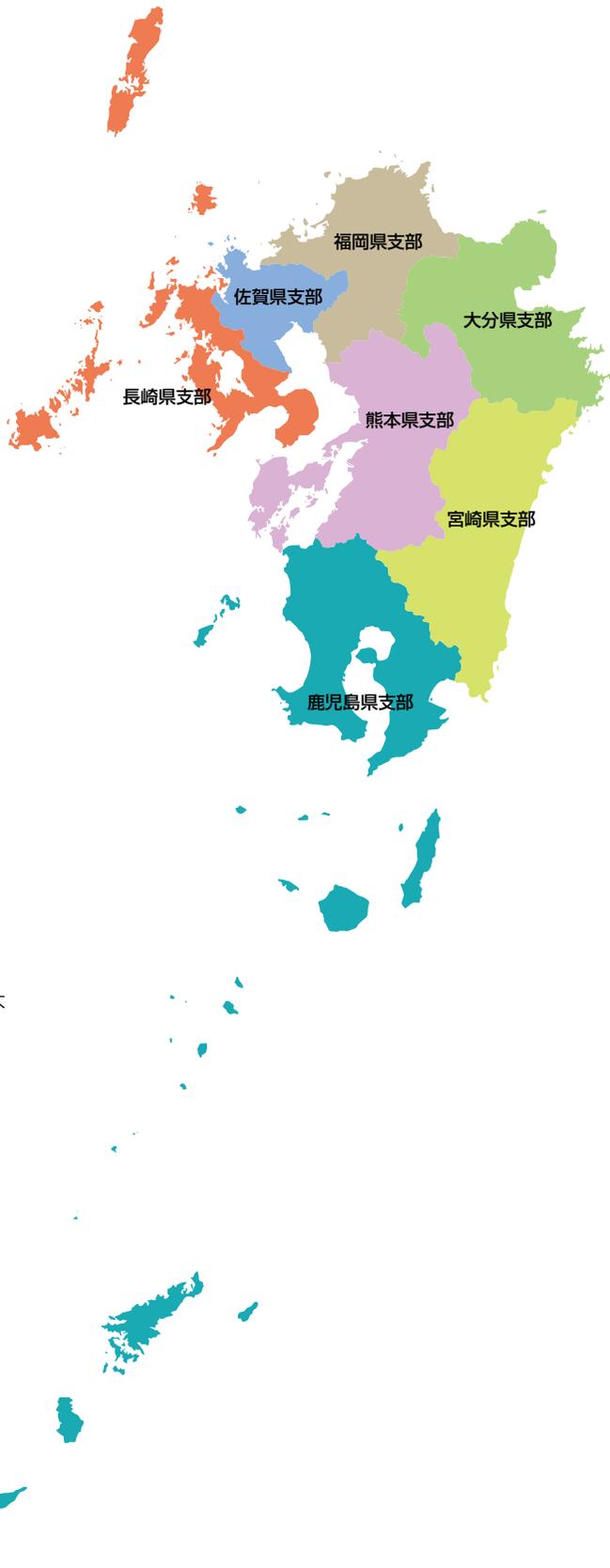
(株)アールアンドアール
(有)生駒建機
(株)トセキレンタル
稲尾産業(株)
(株)井上建機リース
(有)大場電機工業所
(株)九州機械リース
(株)九州建産
(株)九州スーパーハウス
(株)九レンリースサービス
(株)グランドアース
(株)興伸建機販売
コマツレンタル(株)
サニー電機工業(株)
(株)ショージ
新日本建販(株)
(株)生産技術パートナーズ
太陽建機レンタル(株)
東京機材工業(株)
長浜産業(株)
(株)南陽レンテック
(株)ニシケン
西鉄テクノサービス(株)
(株)日商機械
(株)直方建機
日立建機日本(株)
(株)ビナン
福岡マシンテック(株)
福岡レンタル(有)
双葉リース(株)
ユナイト(株)
(有)吉住機工
(株)レックス
(株)リョーキ
(株)レンタルシステム西日本
(株)レンタルのニッケン
(株)ワイズヨシハラ
(株)ワキタ

■佐賀県支部

(株)ソクト

■長崎県支部

グローバル建機(株)
(有)三幸リース
(有)中央リース
東建リース(株)
東洋リース(株)
(有)南陽リース
ニチドウ(株)
(有)フジケン長崎
松浦建機リース(有)
(株)森谷リース



■大分県支部

(有)エヌ・ケイ・リース
国東重販(株)
(有)雑賀リース
(株)タカハタ
(有)中央リース
(株)ナカノ
(株)夏空
野津リース(有)
(株)ワイケイティリース

■熊本県支部

(株)アセット
(株)北建機
協和レンタル(株)
熊本中央リース(株)
三光クボタ建機(株)
三和リース(株)
(有)友建リース
(株)名九建設機械
(株)ニシスイ
(株)山鹿建機
(株)レ・デ・モ
(株)ワタナベ

■宮崎県支部

稲尾リース(株)
(株)キング
(株)コマツレンタル宮崎
(株)奈良鐵工
(株)日徳産業
(有)南九州物流
(株)宮崎ディーゼル商事
(有)宮崎ブルドーザー
(有)洋南重機
(有)吉川重機

■鹿児島県支部

(有)伊集院機工
太田機工(株)
(株)カネイチ
近畿機械産業(株)
国内建機(株)
第一機械産業(株)
東洋リース(株)
徳之島建機リース(株)
日光リース(株)
(株)ハイツカ
宮内機械(有)
(株)ユーコー

協会創立50周年事業



■ ホテル日航熊本
■ 2017年6月6日(火)

記念式典



■開式 永島副支部長



1966年5月まだなじみの薄いこの業界の大いなる可能性を信じ、希望をいだき4社4名の有志からこの協会が始まりました。それから50年。多くの先輩たちの足跡に感謝し、また次の世代へ橋渡しをすべく、ここに開会を宣言致します。只今より、九州建設機械器具リース業 協会創立50年記念式典を開始します。

■支部長挨拶 中野支部長

西日本建設機械、稲尾産業、福岡建設機械、友清商店という四つの会社が四社会というものを作ったと聞いております。私もこのあたりの歴史はよく知りません。初代の会長は四社会をまとめていた西日本建設機械の山下さん、二代目以降は西日本鉄道から何代か出てもらっています。これは協会トップの会長の方が無名では協会としての役が細いのではということで知名度のある西鉄さんにやってもらっていたということで、その後多田さん、稲富さんという流れに変わってきました。 ↗



今日おいでになっている協会の方でも独立をしたとか異業種から参入したとか、さまざまな方々が時代に合った流れの中で今ここにおられると確信しています。

今までとは違った非常に厳しい時代が来るのではないかと思いますがお互いに情報を共有しながらいい協会にしていきたいと思います。50年の歴史を見て頂いたなかで、日本の歴史の敗戦後の70数年の流れというものをみていただいて、冒頭のご挨拶に代えさせていただきたいと思います。

■賛助会会長挨拶 小笠原賛助会会長



建設業に携わる私たちの業界におきましても人手不足感がございますがI-CONはじめIoT化が進みレンタル需要が増加すると思われまます。地域社会に貢献でき今後ますます存在意義のある産業へと成長するものと推察します。

ご参列の皆様方のご健勝と会社様のご隆盛と協会が未来永劫に亘り発展、成長されることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。



■表彰者挨拶 永島元会長

この業界に入り、もう46年もたっ
てしまいました。熊本支部長になっ
たときですが、建設業者さんからおま
えたちは小さいだろうってばかにされ、
仕事に善悪があるかという気持ちをも
ったものです。そういうわけで社会的
地位向上を上げるために先代の方々
はやってこられたんだと思います。

なので2010年に、建機レンタル業で
1兆円を超えたと聞いたときは、私
たちの業界も胸張ってレンタルに携わ
っていてよかったという、誇りと自信
を持った次第です。

先輩方、またもういなくなられた
方々も天上よりこの50周年を喜んで
おられたと思います。これからもレン
タル業を蔭ながら応援させていただ
きたいと思います。今後とも協会が発
展されることを祈っています。





■閉式 峰平副支部長

この式典のコンセプトは中野支部長の強い思いで、50年の歴史をしっかりとわれわれ次の世代につなげていく、そしてその世代がまたその次の世代へ歴史を踏襲し、レンタル業界が地位向上を目指していくという中で、この礎を確認しようということです。

多くの方に列席頂けたのは、この50年の歴史が如何に重いかということをお話しているのではないかと思います。これからは日本建設機械レンタル協会として今までの歴史を汚さぬよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

祝賀会

開会 加治委員長



祝辞 角口会長



祝辞 クボタ建機ジャパン 伊達社長



九州建設機械器具リース業
協会創立50周年記念祝賀会

乾杯 後藤理事









手品 まんぼう



バンド演奏





中締め 萩原熊本県部会長



懇親ゴルフ あつまるレークカントリークラブ 6月7日(水)





協会からのお知らせ

1. 第1回三役会(総務合同)及び50周年委員会

平成29年4月5日(水) 12:00~14:40 八仙閣
銀香梅にて開催され、以下の事項について検討した。

1. 第4回定期総会議案書について
2. 総会運営事項
3. 役員の変更について
コマツレンタル(株) 村上氏が山崎氏へ変更、日立建機日本(株) 山口氏が山内氏へ変更。
4. 50周年事業関係



2. 第1回広報委員会

平成29年4月20日(金) 15:00~17:00 会報「レンタル九州」45号編集に関する委員会が協会事務所会議室にて開催され、広報委員により検討された。(広報委員1名欠席) 表紙及び50周年関係以外について全体の担当を決定し、それに従って記事の原稿の依頼を行った。発行は例年通り2月上旬を予定とする。



3. 第2回三役会(総務合同)及び50周年拡大会議

平成29年4月21日(金) 12:00~14:30 八仙閣



銀香梅にて三役及び総務委員長、賛助会三役、各県代表理事を集めて50周年記念事業の最終確認を行い以下の内容を確認した。

- ・会のタイトルは「九州建設機械器具リース業協会 創立50周年記念」とする
- ・記念式典、祝賀会の内容、本部への報告
- ・パンフレットの内容

4. 50周年委員会現地打合せ

平成29年5月1日 14:00~16:40 ホテル日航熊本にて会場の下見とホテルスタッフとの打合せを行った。また司会者との顔合わせと打合せも行った。主な事項は以下の通り。

- ・記念式典は総会と同じ部屋で実施する事に変更
- ・記念式典、祝賀会ともプロジェクタを使用
- ・看板は総会後記念式典に架け替え
- ・祝賀会はステージを2つ準備

5. 第3回三役会(総務合同)及び50周年委員会

2017年5月19日(金) 17:30~19:40 八仙閣銀香梅にて開催され、50周年記念式典と祝賀会について最終確認を行った。

- ・出席申込み 150名
- ・記念ゴルフ大会申込み
正会員 22名、賛助会員 16名 合計 38名
- ・挨拶、祝辞等の最終確定
- ・テーブル配置の確認(総会、記念式典、祝賀会)
- ・当日の台本の確認

6. 第4回三役会(総務合同)及び50周年委員会

平成29年6月6日(火) 10:00~11:00 ホテル日航熊本にて開催され、当日の最終確認を行った。主な事項は以下の通り。

- ・式典、祝賀会の台本で一部内容と順番の変更あり(司会者へ依頼)
- ・会場最終確認

7. 第1回役員会

平成29年6月6日(火) 午前12時~13時20分 ホテル日航熊本にて開催された。以下の内容が報告、審議された。

【報告事項】

1. 産官学連携会議 (ICT標準化部会) 委員交代
中野支部長より永島副支部長へ
2. 大規模津波防災総合訓練第一回委員会報告
3. 賛助会員退会 (株)日立建機カミーノ

【審議事項】

1. 新入会承認 (株)ハイツカ (鹿児島) を正会員に承認
2. 役員変更の件 コマツレンタル(株) 村上理事より山崎理事へ交代、日立建機日本(株) 山口理事より山内理事へ交代
3. 総会運営事項 内容承認
4. 次回役員会 (長崎) および年間役員会日程について



8. 平成29年度 可搬形発電機整備技術者講習会

平成29年6月14日(水)～16日(金)の3日間、福岡市中央区 ホテル福岡ガーデンパレスにおいて、



新規講習会・試験及び更新講習会が行われた。(株)デンヨーの石川講師など4氏による新規講習会は二日間に亘って行われ、二日目の講習後に試験が行われた。試験結果は8月30日に発表され、受講者55人中42名が合格した。また更新講習は129名が受講し新資格証が発行された。

9. 第5回三役会(総務合同)

6月29日(木) 12:00～14:00 八仙閣銀香梅にて開催された。主な打合せ事項は以下の通り。

- ・50周年事業の写真の扱いについては広報委員会にて決定する。ビデオについては各県へDVDとして1枚ずつ配布する。複製は各県にて希望により行っていただく。
- ・賛助会への入会について (株)諸岡
- ・管理者講習会は例年通り実施する
- ・大手広域懇談会、i-Construction勉強会については一緒に行う方向ですすめる。i-Construction勉強会の日程を押さえておく
- ・来年の定期総会の日程を八仙閣で押さえておく

10. 第2回役員会

平成29年7月11日(火) 14時～17時30分 ホテルニュー長崎にて開催した。以下の内容が報告、審議された。

【報告事項】

1. 総会及び50周年事業収支報告
2. 50周年記念行事実施報告
3. 可発講習会実施報告
4. 九建日報 暑中見舞い広告掲載の件

【審議事項】

1. 賛助会新規入会申請 (株)諸岡九州営業所(熊本)
2. 管理者講習会実施について
11月16日に熊本で実施。講師は寅常任理事。



3. 大手広域懇談会及び i-Construction 勉強会について
10月20日に i-Construction 勉強会は実施。内容及び大手広域懇談会の実施については別途三役

に一任

4. 次回役員会日程検討（年間スケジュール）

【その他】

朝倉、日田の豪雨被害について協会としてどうすべきかという議論を行ったが、東日本大地震や熊本大地震級の災害でなければ、各県部会単位でまずは考えようということになった。

11. 第2回広報委員会

7月21日（金）16：00～17：30 協会事務所にて、会報「レンタル九州」45号へ載せる50周年事業関係に関する取り扱いについて広報委員及び支部長、総務委員長含めて検討した。（広報委員2名欠席）50周年記念事業の掲載については記念式典、祝賀会の写真をなるべく多く会報へ掲載することとし、含めてパンフレットにあった地図上の会員一覧も載せることになった。表紙は熊本城とくまもんに決定。

12. 第6回三役会（総務合同）

平成29年9月5日（火）12：30～14：45 八仙閣銀香梅にて開催した。主な内容は以下の通り。

- ・東福ビル賃貸契約の名義変更に関する覚書の件 レンタル協会へ変更
- ・i-Construction勉強会実施の最終確認
- ・大手広域懇談会の日程について 賀詞交歓会と合わせて行う
- ・新規賛助会入会の件 JA三井リース(株)
- ・求人チラシについて（鹿児島）

13. i-Construction勉強会

10月20日（金）13：00～16：00 コマツ IOT センターにて14社20名の参加で実施した。



九州地方整備局企画部企画施工課 宮原専門官から i-Construction の必要性、九州での実績などのご説明を聞いた後、(株)コマツレンタルよりデモンストラーションが行われ、希望者の建機試乗を実施した。

14. 第3回役員会

平成29年11月2日（木）14時～17時30分 宮崎観光ホテルにて開催した。以下の内容が報告、審議された。

【報告事項】

1. 本部常任理事会報告
2. i-Construction関係 産学官連携会議（ICT・標準化作業部会）報告
3. i-Construction勉強会結果報告 14社20名参加
4. 大規模津波総合防災訓練について 交通手段及び開会式など
5. 管理者講習会 集客状況について報告
6. 可発型発電機整備技術者資格試験結果 42名/55名 合格率 76%
7. 東福ビル賃貸契約変更報告（敷金の扱いについてレンタル協会へ移行する）
8. 平成29年度上期収支報告と見込
9. 九建日報広告掲載



【審議事項】

1. 大手広域懇談会実施の件 1/23実施
2. 賀詞交歓会進行次第
3. 賛助会への入会 JA三井リース(株)、(株)トプコンソキアポジショニングジャパン

【その他】

会則の見直しを本部支部規約に沿った形で行うことを確認

15. 大規模津波防災総合訓練

平成29年11月3日(金)、宮崎県で大規模津波総合防災訓練(主催:国土交通省、宮崎県、宮崎市)が実施され、九州地方整備局との災害協定団体として参加した。中野支部長、峰平副支部長、永島副支部長、後藤理事、伊豆理事が出席し、他の理事も訓練を見学した。この訓練は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震を契機に始まり、12回目の今年は、九州で過去最大の145の機関が参加し、実施された。訓練では、南海トラフ巨大地震を想定し、大規模津波来襲に備えた住民等の避難訓練、救助訓練、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による道路・航路警戒や緊急排水訓練等を行い、また、宮崎港の避難高台「命の丘」を使った住民等の避難訓練には、「世界津波の日(11月5日)」の趣旨を踏まえ、外国人留学生や海外の政府関係者が参加する等、国際的な普及・啓発のための取組も実施された。



16. 管理者教育講習会

平成29年11月16日(木) 14:00より熊本市TKPガーデンシティ熊本にて管理者教育講習会を実施した。九州の各県から49名の受講者の方に参加いただき、まず中野支部長より、自社でレンタルした車の事故の事例をもとにレンタル機器の整備の重要さと責任について、またレンタル業は非常に大切な仕事していると実感を持って頂きたいという話があった。



講義は寅太郎講師(常任理事、(株)レンタルのニックン常務執行役員)により、部下とのコミュニケーション、お客様とのコミュニケーションについて、またマネージャーとしての心構えなどについて分かりやすいたとえ話を交えながら約3時間お話をいた

だいた。

終了後、参加希望者と支部長、寅講師で懇親会を行い大いに懇親を深めた。

17. 第7回三役会（総務合同）

平成29年11月28日(火) 12:45~14:45 八仙閣 銀香梅にて開催された。主な打合せ事項は以下の通り。

- ・本部会報への寄稿依頼について
- ・本部臨時総会開催について
- ・新春賀詞交歓会の案内について
- ・大手広域懇談会のテーマについて
- ・会則の変更について

打合せた内容に沿って、賀詞交歓会の案内及び大手広域懇談会の案内を発送した。

18. 第4回役員会

平成30年1月23日(火) 14:00~16:15 八仙閣にて実施した。主な議題は以下の通り。

【報告事項】

1. 本部理事会の報告
次期本部役員枠は各県1名に
登録制度導入について
2. 津波の日総合防災訓練報告
3. 管理者講習会結果報告
4. 「かいほう」への寄稿について
5. 会報広告収入
6. 九建日報年賀広告



【審議事項】

1. 今年度見込み及び来年度本部予算案について
今年度はほぼ予算通りで進捗、3月に最終案
2. 平成30年度事業計画
登録制度についての活動を検討
3. 任期満了に伴う役員改選の件
3月役員会までに各県にて決定する

【その他】

- ・支部会則の見直し内容提示
- ・主なスケジュール

19. 大手広域懇談会

1月23日(火) 16:30~17:30 八仙閣
今年は大手広域懇談会を賀詞交歓会と合わせて実施した。

大手広域レンタル会社の方、九州支部役員以外にも数社の会員の方にご参加いただき総勢33名にて、「働き方改革について」というテーマで懇談会を行った。新卒採用や教育など、各社が工夫されている点や注意している点などについて意見交換を行った。課題は各社共通しているという認識を持っていたので今後協会としてどう取り組んでいくのか来年度以降検討していく。



20. 新春賀詞交歓会

1月23日(火) 18:00~20:00 八仙閣にて新春賀詞交歓会を開催した。寒波の到来で非常に冷え込んだ日だったが、昨年より増えて会員、賛助会員合わせて総勢138名に参加いただいた。中野支部長より、この業界が皆様方のご協力により今以上の業界になっていくようお願いしたいし、協会として人材確保と業績アップということに取り組んでいきたいという挨拶のあと、賛助会西田副会長の乾杯で開始し、峰平副支部長の中締めで盛会のうちに終了した。





21. 今後の主な協会スケジュール

事業項目	日時	場所
第5回役員会	平成30年3月7日	ホテル日航大分 オアシスタワー
平成29年度決算監査	平成30年4月中旬	協会事務所
平成30年度第1回役員会	平成30年5月16日	福岡 八仙閣
第6回定期総会	平成30年5月16日	〃



子供が大きくなり手が掛からなくなって、自分の時間が少しずつ増えてきました。

そんな時に、ふと本棚を見ると昔購入した本が目飛び込んできました。タイトルは『7つの習慣』です。読まれた方も多いのではないかと思います。約20年前に日本で翻訳出版され、世界的にベストセラーを記録したステイブ・R・コビー博士が書いたビジネス書です。

当時、若かった私は意気込んで購入したものの、内容が難しく途中で挫折してしまいました。そこで今度こそ読破してみよう！との思いで、読書をする事にしました。私なりの見解ですが、簡単に内容をご紹介させて頂きたいと思います。

第一の習慣：主体性を発揮する（周りに流されることなく、自分自身で決断し行動する）

第二の習慣：目的を持って始める（最後の姿を思い描き、今日一日を始める）

第三の習慣：重要事項を優先する（緊急ではないが重要な事に時間を費やす）

第四の習慣：Win-Winを考える（相手と自分、相互にメリットのある取引を考える）

第五の習慣：理解してから理解される（感情移入して相手の話を聞く）

第六の習慣：相乗効果を発揮する（相違点を認め、相乗効果的な第三案を探す）

第七の習慣：刃を研ぐ（肉体・知性・精神・社会情緒をバランスよく磨き向上させる）

本書の中で引用されているイソップ物語の『ガチョウと黄金の卵』の内容は面白いながらビジネスにおいて考えさせられる内容（成果と資源）でしたので紹介させて頂きたいと思いません。

ある貧しい農夫が、飼っていたガチョウの巣

の中にキラキラと輝く黄金の卵を発見した。市場に持って行くと、なんと純金だった。翌日も同じ事が起きた。来る日も来る日も、農夫は目を覚ますや否や、ガチョウの巣に走って行き、新しい黄金の卵を発見した。やがて農夫は大金持ちになった。ところが、富が増すにつれ欲が出て、せっかちになっていった。一日一個しか生まれぬ黄金の卵が待ち切れず、ついにガチョウを殺し腹の中の卵を全部一気に手に入れようとした。そして、いざガチョウの腹を開けてみると中はからっぽだった。黄金の卵はもちろん無く、そのうえ黄金の卵を手に入れる手段さえも、農夫は無くしてしまった。黄金の卵を産み出してくれるガチョウを殺してしまったのだ。

7つの習慣は仕事ではもちろん、私生活でも活用できる内容になっております。

今年は入社以来、少し膨らみ過ぎたお腹をひっこめる為に7つの習慣をダイエットで実践し、急がずに体を壊さないよう運動を行い、成果を出したいと思えます。



11月5日は
「津波防災の日」
「世界津波の日」

TSUNAMI

大規模津波防災総合訓練



11月5日は我が国の「津波防災の日」であり、国連が制定した「世界津波の日」です。地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、陸・海・空にわたる本番差ながらの訓練を実施します。

一般社団法人日本建設機械レンタル協会九州支部は、平成26年5月に国土交通省九州地方整備局との間に災害時における応急対策業務の支援に関する協定を締結しました。

このたび、標記大規模訓練が九州で実施されるに当たり、協定締結団体としての参加要請を受け、開催地である宮崎県部会が担当することとなり、災害対策用建設機械の展示を行いました。

《レンタル協会宮崎県部会としての意見》

- 実動訓練には直接参加しなかったが、訓練で使用された機材・機械は地元のレンタル協会会員で提供可能なものも少なくなかったように見受けられた。地元の協会員から調達することで、地元団体（企業）の参加意識も高くなるのではないか。
- 参加団体同士のヨコの情報交換・情報共有を行う機会を設けると、上記の問題が改善されやすい。
- 実動訓練でなくとも、展示機材が災害現場でどのように使われるのか、『実際に操作して見る』『体験搭乗してもらう』等、一步踏み込んだ参加の仕方を考えた方がよかった。
- 今回が初めての参加だったので、実際の訓練の様子がイメージできなかったこともあり、準備不足の感があった。



訓練会場にご来場いただいた
レンタル協会九州支部の理事
の皆さん

レンタル協会は展示部会として本訓練に参加し、災害対策用建設機械として油圧ショベルと橋梁点検車を展示しました。

※宮崎県では、9月の台風18号と10月の21号による災害の復旧工事現場で災害対策用機材や重機が稼働していたため、訓練で展示する機械の在庫が乏しく、地元会員で調整のうえ右のような機械を展示することとなりました。



宮崎市消防局の地震体験車
阪神淡路大震災などの模擬体験や震度ごとの揺れを設定し、地震を直接体で体験できます。

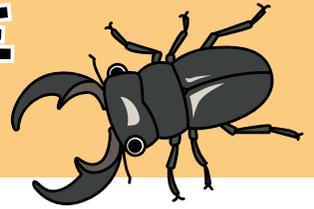


国土交通省の降雨体験装置
ふるぞー君

宮崎県のマスコット
キャラクター宮崎犬



炊き出し訓練で提供されたチキンカレー
約1000食が準備されました
一番の人気コーナー？



この夏、我が家に昆虫達がやってきた。子供が小さい時は怖がっていた昆虫も、興味が出る年頃になったのであろう。前回の時は、どこかの林で見つけたカブトムシの幼虫を持って帰った記憶があった。その時は成虫へと成長させる事が出来たのだが我が家には受け入れてもらえなかった経緯を思い出した。そんなある日、チビ軍曹より指令が飛んだ!!

「カブトとクワガタを捕ってこい!!!」とのことだった。

なかなか頼もしく強い命令口調ではあったのだが、チビ軍曹に悪意は当然ないはずで、むしろどちらかと言うと微笑ましくさえ思った。一丁前に堂々と命令してくる姿が何とも・・・愛らしい。

捕獲命令が下ってから、時間がある時は探して回った。一週間・・・二週間と、時は過ぎていく中で捕獲ゼロが続く。ほどなくして、自分だけで捕獲任務遂行は無理かもと思いつきミッション自体が頓挫しそうになった。何か別の戦術を考えて捕獲作戦のアプローチを変更しなければチビ軍曹になんと言われることやら・・・こうなったら他者の協力を得なければ、カブトムシに出会えないような気がしてきた。それからは、何人かに声かけをさせていただいた上で自らもチビ軍曹と共に捕獲活動を続けていた。

数日経ってからだったと思うが声かけをしておいた人から電話が鳴った・・・「クワガタだけ捕れたよ。」

ありがたい事に、飼育用の虫カゴも一緒にプレゼントしていただけたのだ。

自分自身が感激して感謝の気持ちになった。その後も幾人かから、カブトムシとクワガタをいただけることができたのでチビ軍曹は飼育に夢中になっていった。

結局、自分自身では何もできなかった。

ただの一匹さえも捕獲できず情けなかったが、

ふと実社会に視点を向けてみた。社会生活において自分にできることには限界があり、得手不得手を組織に配分して企業が成り立っているとすれば、時に協力し合い、時にまかせる、失敗を恐れずにPDCAサイクルを早めていかなければ結果が出ないはず・・・。そんな当たり前にも思える事実とその再確認となったこの夏。昆虫先生にハツとさせられた出来事だった。

虫カゴは4つに分けて種類ごとにしてあった。帰宅してからエサの交換等々の仕事があったのだが、4つの虫カゴに分けて育てていたつもりが実は人間の思い込みや決めつけで4つのカゴに仕分けられているだけではないか・・・

そんな感情が芽生えてきたのである。つまりは、こういうことなんだと思う。

今回のケースで例えるならば、一種類だけとかオスとメスを別にするとかクワガタとカブトムシは一緒にしないとかの飼育ケースごとに振り分けているのは、その人の主観であり先入観以外の何ものでもないという事実。自然の中ではいろんな外敵と遭遇するものなのに・・・

ある日、チビ軍曹とこんな会話が合ったのを覚えている。私がクワガタの様子を見ている時にそれはおきた。大多数の人はツノを突っつき合っていたらケンカしていると判断するのではないだろうか。実際、その時の私はそう思って引き離そうとした。

すると一緒に見ていたチビ軍曹が叫んだ!!

「おおい!! クワガタが楽しく踊ってるのに邪魔すんなあ!!!」

私「・・・」言葉が出なかった。

この場面で彼は、昆虫たちがダンスを楽しんでると表現していた。私の行動をさえぎって微笑んだ顔をしていた。しばらく間があって、昆虫たちを観察する様子を見守っていたのだがまたふと思いを巡らせてみた。

今の現代社会においてストレスがない事はあ



り得ないと思うが柔軟なバランス感覚を持っていなければと思った。昆虫やチビ軍曹の様子を通して、自分自身で物事の見方を狭めていることに今更ながら痛感する場面であった気がする。昆虫たちがケンカしていたのか、ダンスを踊っていたかは誰にもわからない。しかし人間同士の行動と会話の中において少なくともケンカとダンスの両方の見え方があったのは事実としてあったのだ。

人間には素晴らしいコミュニケーションツール（言葉）があるが昆虫たちの世界にも独自のコミュニケーションの仕方があるかもしれないのは否定しない。我々にはわかることはないと思うがその世界なりの言葉に代わる何かが・・・あると。

言葉という手段は便利ではあるはずなのに、時に誤解を生じるようなネガティブな側面も持ち合わせていると思う。世の中には話が上手な人もいれば、私みたいに不得手の人間も存在する。そんな中の一存在でしかないのだがBESTではなく、BETTERを選択するバランス感覚を身につけたいものだ。

何故、BESTを選択しないのか？

単なる持論だが・・・

BESTを選択すると自分が追いつめられる時がある。柔軟なバランス感覚を保つにはBETTERが私の中のBESTなのかもしれない。それに、BESTの上にはもう一段階上のBETTERがあると信じているから、言葉で表現するならBETTERが気に入っている。

実は、今回の執筆は一本の電話が鳴ってから始まった。

夏のまだ暑い時期の判断である。

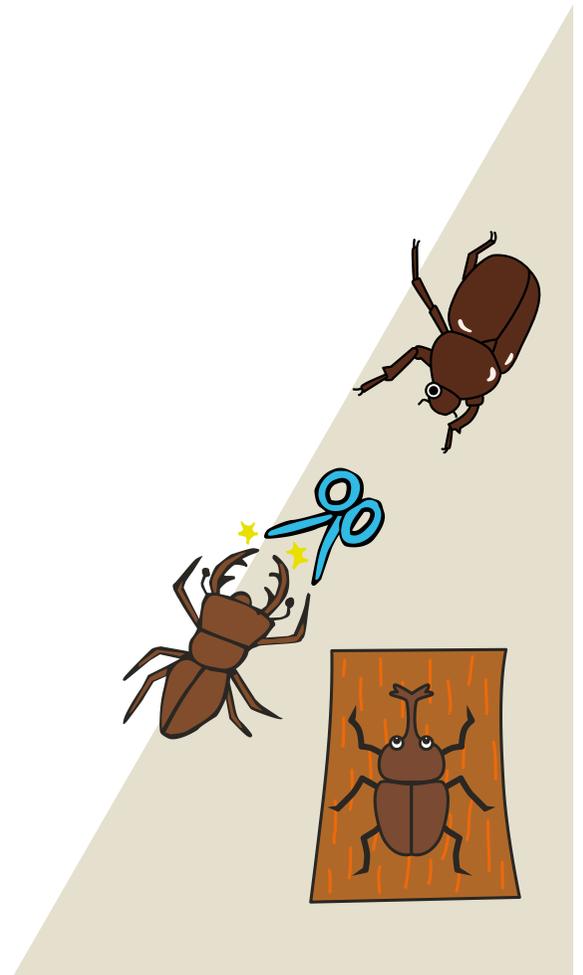
今回の件に関してBESTな選択肢は断ることだった。（物事の表現と伝達は最も不得手だと自認している）しかし、自分の中でのBETTERを選択したつもりだ。

不器用な手前でありながら書くことを選んだ。

この夏の経験としては貴重な出来事だった気がする。

チビ軍曹と昆虫先生に感謝したい。あの日に私の携帯を鳴らしたあの人も・・・感謝。

ありがとう。





神秘的風景に
出合う



吾平山上陵

天武天皇の御父君「ウガヤフキアエズノミコト」と御母君「タマヨリヒメ」の御陵。全国でも珍しい岩屋の陵でもある。地元では「あいらさんりょう」と呼ばれ親しまれている。



輝北天球館

ユニークな造形が特長の天球館。天体観測ドームには九州最大級の口径65センチのカセグレン式反射望遠鏡が設置されており、昼間でも美しく輝く一等星が見られる。

ファンタジーナイト

夜のばら園を楽しむファンタジーナイトはイルミネーションや花火、ダンスショーなどを楽しむ毎年恒例のイベントです。



かのやばら園

「かのやばら園」は、8haの広大な敷地に約35,000株のばらが植えられた日本最大級の規模を誇るばら園です。ばらの見ごろの春と秋にあわせて、「かのやばら祭り」を開催しています。特に春の開花シーズンは、鹿児島の温暖な気候を生かし、全国に先駆けて毎年5月のゴールデンウィークごろに満開を迎えます。



切花温室



切花用に栽培しているばらを、お客様が直接選んで切り出し、お持ち帰りいただけます。スタンダードタイプ1本150円。

薔薇カレー



鹿屋市オリジナルのばら「プリンセスかのや」の花弁を原料に、バラの花をイメージした淡いピンク色の薔薇カレー。後味に、ほのかにばらを感じられます。

かのやばら祭り



春と秋の年2回開催されるかのやばら祭りは、様々な催しがあり大人から子供まで幅広い世代で楽しめます。

ばらソフト



かのやばら園グルメ1番人気のばら園オリジナルソフトクリーム！ばらのほのかな香りが爽やかなソフトクリームです。

プリンセスかのや



鹿屋オリジナルの品種「プリンセスかのや」は、大輪八重咲で花びらの色は表が赤く裏が白で香りも強いのが特長です。

お土産



売店では、ばら小物やかのやばら園のばらを加工した商品、ばらのお酒など、幅広い年齢層に喜ばれる様々な商品をお取り扱いしております。

鹿児島県鹿屋市の魅力や情報を皆様へお届けします。

「過去」を知り、「現在」を学び、「未来」を考える 「永遠の0」の舞台「鹿屋」で戦争遺跡を巡る

鹿屋市には、太平洋戦争時に3つの飛行場(笠野原・鹿屋・串良)が存在し、日本でも最多数の特攻隊が出撃した歴史があります。

鹿屋海軍航空基地からは908名、串良海軍航空基地からは363名の特攻隊員が出撃し、その尊い命を失いました。

1 鹿屋航空基地史料館

特攻隊員に関する貴重な資料だけでなく、小説「永遠の0」にも登場する「零式艦上戦闘機五二型」や、旧日本海軍創設期から先の大戦、現在の海上自衛隊に関する貴重な資料を見学できる施設です。



4 海軍航空隊笠野原基地跡の川東掩体壕

戦闘機を空襲から守るためのコンクリート製のシェルターです。笠野原飛行場近くにつくられたものが残っています。



2 小塚公園

旧海軍鹿屋航空基地 特別攻撃隊戦没者慰霊塔

鹿屋基地から特別攻撃のため沖縄へ飛び立った若者たちの御霊を祀るために昭和33年に建立されました。毎年桜の咲く4月には慰霊祭が行われています。



3 桜花の碑・野里国民学校跡



昭和20年春に神雷(人間爆弾「桜花」)作戦を行った部隊が宿舎としていた旧野里国民学校跡地に建立された碑です。隊員たちが最後の別れの杯を交わした地であることも知られています。

5 笠野原基地 地下道入口跡



鹿児島県鹿屋市笠野原にあった笠野原飛行場は戦時中に笠野原海軍航空基地として使用され、昭和20年に爆撃を受けて基地は多大な被害を受けました。現在は地下道へ入るコンクリート入口のみが残されています。

福岡県 『神宿る島』宗像・

2017年7月に福岡県の宗像・沖の島など8つの史跡が「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」としてユネスコ世界遺産に登録されました。

構成資産は、本土から約60キロの玄界灘に浮かび、宗像大社沖津宮(おきつみや)がある沖ノ島と、島に付随する小屋島(こやじま)、御門柱(みかどばしら)、天狗岩(てんぐいわ) (以上宗像市) の4資産のほか、本土から約11キロ沖の大島にある中津宮(なかつみや)と沖津宮遥拝(ようはい)所、本土にある宗像大社辺津宮(へつみや) (同)、新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群(福津市) の計8資産となっています。

遺産群全景



これらのうち、沖の島、小屋島、御門柱、天狗岩は一般の人は行くことができませんが、それ以外の4か所は福岡市からも近く、手軽に行くことができますのでそれぞれ紹介したいと思います。

宗像大社全体としては三女神を祀った沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮、そして宗像市田島にある辺津宮の三か所で構成されています。我々が宗像大社といわれて思い浮かべる宗像市田島の社殿が辺津宮になります。

宗像大社辺津宮

辺津宮は、宗像大社を構成する三宮の一つで、宗像三女神の市杵島姫神(いちきしまひめのかみ)が祀られています。沖ノ島と共通する古代祭祀が行われた宗像山中腹には、高松祭場が整備されています。本殿、拝殿ともに国の重要文化財です。



沖ノ島と関連遺産群



新原・奴山古墳群

沖ノ島祭祀を担い、沖ノ島に宿る神に対する信仰を宗像三女神信仰へ発展させた古代豪族宗像氏の墳墓群です。前方後円墳五基、円墳三十五基、方墳一基の計四十一基が現存します。大島、さらに沖ノ島へと続く海を一望できます。

宗像大社沖津宮遥拝所

大島の北側に設けられた沖津宮遥拝所は厳格な禁忌により立ち入りが禁止されている沖ノ島を遥拝（遙か遠くから拝むこと）する場所です。晴れて空気の澄みきった日にはここからはっきりと沖ノ島を望むことができます。



宗像大社中津宮

中津宮は沖津宮・辺津宮とともに宗像大社の三宮の一つです。宗像三女神の一柱である湍津姫神（たぎつひめのかみ）が祀られています。大島で最も高い御嶽山の山頂では沖の島と同じ祭祀が行われていました。現在は御岳神社が建ち、参道で中津宮神殿と呼ばれています。

株式会社 ハイツカ



株式会社ハイツカ概要

- 代表取締役／灰塚 崇格
- 本社所在地／〒899-0502
鹿児島県出水市野田町下名字森町217-1
- TEL 0996-84-2529 ■FAX 0996-84-2868
- 設 立／1983年6月
- 資本金／1,000万円
- 拠 点／3営業所（野田、出水、水俣）
- 社員数／17名（2018年1月現在）

当社は、地元を中心に拠点をおき、その利点を生かし、業者様、個人様と幅広く、迅速に対応できるよう心掛けております。

クレーン作業も行っており、「電話一本

でレンタルとクレーンと一括して注文できる。」というお言葉も、お客様からいただき、お役にたてているのではないかなと感じております。



本社兼整備工場



野田営業所

鹿児島県出水市野田町下名213-5
TEL0996-84-3231
FAX0996-84-2726

出水営業所

鹿児島県出水市福ノ江619
TEL0996-67-4147
FAX0996-67-4311



水俣営業所

熊本県葦北郡津奈木町小津奈木
字丸岡319-1
TEL0966-78-3586
FAX0966-78-2488



クレーン

鹿児島県出水市野田町下名218-1
TEL0996-84-4262
FAX0996-84-2726



(写真提供：大分県部会)

平成29年7月 北部九州豪雨災害



〈日田市大鶴地区〉



〈日田市大鶴地区〉



〈日田市大鶴地区〉



〈日田市大鶴地区〉

7月5日から6日にかけて福岡県と大分県を中心として発生した集中豪雨で
福岡県朝倉市、東峰村、添田町、大分県日田市、中津市で
非常に大きな被害がでました。
被害状況の大きさを知らせる写真を頂きましたので掲載いたします。



〈日田市大鶴地区〉



〈日田市鶴城町付近〉



〈日田市鶴城町付近〉



〈日田市小野地区〉



〈日田市大鶴地区〉



〈小野振興センター上〉

インフルエンザの豆知識

例年11月ごろからインフルエンザについての話題がでてきます。インフルエンザは毎年、12月～3月あたりにかけて流行します。

インフルエンザとは

そもそもインフルエンザとはインフルエンザウィルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。高齢の方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。非常に感染力が強いことも特徴の一つです。



インフルエンザの種類

大きく分けてインフルエンザにはA型、B型、C型がありますがC型は一度かかると免疫ができて二度とかかりません。冬に猛威を振るうインフルエンザはA型とB型ですが、この違いのうち分かりやすいのは時期や症状です。

A型とB型は冬場に流行しますが毎年12月～1月にA型、2月～3月にB型のインフルエンザが流行します。

そして、A型は高熱が出て関節痛が起こったり全身の倦怠感がでますが、B型は微熱や平熱（高熱の場合もある）で下痢やおう吐などの消化器系症状が多くです。症状はA型よりもB型のほうが軽めの場合が多いですが、B型の方が長引きやすいというのも特徴です。

新型インフルエンザ

インフルエンザA型のウィルスは毎年小さな変異を繰り返しており、年によっては人間が免疫を

獲得していない姿に変異することがあります。過去に存在しないA型のインフルエンザウィルスに変異し、世界中で大流行を引き起こした場合、「新型インフルエンザ」と呼ばれるようになります。

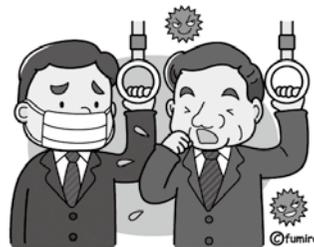
2009年に発生した新型インフルエンザも今は季節性インフルエンザに区分されてワクチンも準備されています。

感染について

インフルエンザの感染は飛沫感染と接触感染の二つがあります。

飛沫感染とは感染した人が咳をすることで飛んだ飛沫（小粒子）に含まれるウィルスを、別の人が口や鼻から吸い込んでしまい、ウィルスが体内に入り込むことです。飛沫の数は一回の咳で約10万個と言われています。飛沫の大きさは5ミクロン以上（1ミクロン=1000分の1ミリ）で飛距離は約1～1.5メートルです。

接触感染とは感染した人が咳を手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に、ドアノブ、スイッチなどに触れると、その触れた場所にウィルスを含んだ飛沫が付着することがあり、その場所に別の人が手で触れ、さらにその手で鼻、口に再び触れることにより、粘膜などを通じてウィルスが体内に入り感染することです。



予防について

予防については手洗いとマスク着用が有効だと言われています。外出から帰った時によく手洗い

することで手に付いたウィルスを洗い流し接触感染を防ぐ効果があります。またマスクについては、既にインフルエンザに感染している人はマスクをすることで飛沫が飛散することを防ぐことができます。マスクには隙間があるため、感染していない人がマスクをしていてもある程度しか防げません。

なお、うがいはウィルスが付着して20分以内でなければ効果がありません。

予防接種について

インフルエンザの予防接種は4価ワクチンと呼ばれ、A型・B型それぞれ2種類のワクチン株が含まれています。インフルエンザウィルスの流行は多くの型や株が同時に流行するという事は殆ど無く、1シーズンにはせいぜいA型2種（H1N1とH3N2）とB型2種くらいでそれに合わせてワクチンも決められています。

毎年ワクチンの基となるウイルス（ワクチン株）は、国内外のインフルエンザ情報に基づいた流行の予測から決定されています。4～5月頃決定し国内の4社の製薬会社が製造します。インフルエンザの予防接種が効果を発揮するまでには、約2週間程度の時間がかかりますので流行時期から考えて11月から12月中旬までに接種するのが望ましいとされています。

予防接種することにより同じ株のウィルスに対する抗体ができるとともに、もし違う型のインフルエンザにかかったとしても重症化を防ぐことができます。



潜伏期間と感染について

インフルエンザの潜伏期間は1～2日、長くても3日といわれています。インフルエンザの潜伏期間が短い理由は、ウィルスの増殖スピードが速いことにあります。

インフルエンザの感染力のある期間は、発症1

日前から発症後の7日の約9日間です。感染力がもっとも強いのは発症2日目から3日目の間です。症状がもっとも重い期間は感染力もピークであるといえます。

治療について

インフルエンザにかかったら安静にして睡眠を十分にとること、また、高熱によって脱水症状が起こらないように、水分をしっかりと補給することが大切です。

インフルエンザの治療にはタミフル、リレンザ、イナビル、ラピアクタの4種類の抗インフルエンザ薬が使われています。これらはインフルエンザウィルスの増殖を抑えて感染の拡大を防ぐ薬です。

抗インフルエンザウィルス薬の服用を適切な時期（発症から48時間以内）に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、鼻やのどからのウィルス排出量も減少します。

まとめ

インフルエンザの感染者数は例年1000万人にのぼると言われており、直接的及び間接的にインフルエンザの流行によって生じた死亡を推計する超過死亡概念によると毎年1万人がインフルエンザで亡くなっているといえます。

恐れすぎてもいけませんが発行についてはテレビや新聞のニュースにも注意してできるだけ感染しないように、またおかしいと思ったらすぐに病院に行って必要な処置をとってもらいましょう。



会員消息

(平成29年1月～平成29年12月末)

(敬称略)

《入会》

〔正会員〕

97022 (株)ハイツカ
(H29.6.6入会)

代表取締役 灰塚 崇格
〒899-0502 鹿児島県出水市野田町下名字森町217-1
TEL 0996-84-2529 FAX 0996-84-2868

〔賛助会員〕

丸中ゴム工業(株)
(H29.4.1入会)

代表取締役 中西 英晴
〒467-0861 愛知県名古屋市瑞穂区二野町4-11
TEL 052-889-5556 FAX 052-889-5558

(株)諸岡 九州営業所
(H29.7.11入会)

所長 西田 博文
〒861-4151 熊本県熊本市南区富合町清藤346-1
TEL 096-358-8030 FAX 096-358-8033

JA三井リース(株) 九州第三部
(H29.11.2入会)

部長 大熊 優
〒812-0027 福岡市博多区下川端2-1
TEL 092-271-7103 FAX 092-271-8262

(株)トプコンソキアポジショニングジャパン 福岡営業所
(H29.11.2入会)

所長 神戸 英幸
〒812-0042 福岡市博多区豊1-10-50
TEL 092-432-7295 (本社転送へ)
FAX 092-432-7317

《商号・住所・人事》

〔正会員〕

91076 (株)レンタルのニッケン九州支店

九州支店長 熊川 二郎

91071 日立建機日本(株)九州支社

レンタル課長(レンタル責任者) 山内 和彦

92001 (株)ソクト

執行役員社長 中島 英敏

91070 新日本建販(株)福岡営業所

所長 小倉 正哉

93013 (有)南陽リース

代表者 臼木 琢哉

91084 東京機材工業(株)西部支社

支社長 小山 隆利

97016 太田機工(株)

代表者 上山 勇

91064 コマツレンタル(株)

新住所 〒839-8540 福岡県久留米市宮ノ陣町若松1-45
TEL 050-3484-7873 FAX 0942-46-3041

91080 (株)リョーキ 八幡営業所

所長 寺井 洋貴

新住所 〒807-0806 北九州市八幡西区御開3丁目31-23
TEL 093-693-1300 FAX 093-692-3371

91075 (株)レンタルシステム西日本

新住所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目19-5
博多石川ビル7階

TEL 092-260-3951(代) FAX 092-260-3952

91047 (株)九州機械リース

代表者 平河 寛教

〒814-0032 TEL 092-831-2619

99007 (株)日徳産業

代表者 吉川 真人

95007 (株)タカハタ

代表者 高畑勢津子

《商号・住所・人事》

〔賛助会員〕

(株)KATO HICOM 九州支店 新住所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目12-16
東比恵スクエアビル5F
TEL 092-483-2561(代表)
FAX 092-482-2566

デンヨー(株)西日本営業部九州営業所 所長 西田 直彰
やまびこジャパン(株)九州支社 営業部長 渡辺 智
ユアサ商事(株)建機本部九州建機部 部長 小笠原 茂
(株)アイチコーポレーション九州支店 支店長 遠藤 俊也
新住所 〒811-2207 福岡県糟屋郡志免町南里2丁目26-1

AIG損害保険(株)福岡プロチャネル営業部
部長 畑田 良伊
新住所 〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
富士火災福岡ビル4階

伊藤忠建機(株)支店営業事業部福岡支店
新住所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目2-20
博多駅前C-9ビル2階

範多機械(株)福岡営業所
新住所 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3丁目6-5
新TEL 092-503-3607
新FAX 092-503-3608

(株)NSD 代表者 産業事業本部 第一事業部 システム6部 許斐 康郎

《退会》

〔正会員〕

平成29年度 無し

〔賛助会員〕

(株)日立カミーノ営業本部 広域営業部 九州営業所 (日立建機日本(株)との統合のため)

※お願い 変更事項の際は、事務局にご連絡ください。

訃報

●鹿児島県会員

宮内機械(有) 会長 宮内 薫 様 (忘年76歳)

平成29年7月7日 ご逝去になりました。

●大分県会員

(株)タカハタ 代表取締役社長 高畑博邦 様 (忘年67歳)

平成29年12月14日 ご逝去になりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

合掌

ところで五十年といえば、まず織田信長が好んで謡う「人間五十年」のフレーズを思い出す。信長が数ある舞曲のうち好んだのは、幸若舞の演目の一つ「敦盛」であった。源氏の勇将熊谷直実は、一の谷の戦いで倅直家と同年の公達・平敦盛を、心ならずもわが手につけて、世の無常と、命の儂さを身にしみじみと感じ、遂に遁世を決意するが、その心情を謡ったのが「敦盛」である。

永祿三年五月十九日払暁、二十七歳の信長は大敵今川義元との決戦に出陣するにあたり、清州城で自ら謡い、舞ったと「信長公記」に太田牛一が書き残している。信長が最も好んだ一節は、「人間、五十年、化天のうちを比ぶれば、夢幻の如くなり

ひとたび生を享け、滅せぬものあるべきか」であったという。化天とは化楽天のことで、天上の世界にあつていまだ欲にとらわれた六つの天界の一つであるという。そこでの一昼夜は人の世の八百年にあたり、その住人の定命は八千歳。さらにその下位の世界、いわゆる下天においては、一昼夜は人の世の五十年、定命は五百歳という。熊谷直実は、「人の世の五十年など、下天の一昼夜に過ぎない。そこでは滅びずにいられるものなどないのである。何と儂いことであろうか」と詠嘆するのである。出陣を前に舞っている信長の心境はこれとは全く逆であった。それならば、今日という日を、今というこの瞬間を、自分のやりたいようにやるだけだ。今川のような強大な敵であろうとも、工夫次第で倒せるはず。敵も味方もいつか滅ぶのであれば、己が滅ぶ前に相手を滅ぼしてやる。刹那的で強烈な自

己中心主義ではあるが、この信長流の解釈と果敢な行動力が、桶狭間の勝利に繋がったのだろうと思う。

「敦盛」のこの名文句は信長とセットになって、人口に膾炙されていくが、直実流の無常観も捨てがたい。蛇足ながらここでいう「人間五十年」は、「人の世の五十年は」の意味であつて、人の寿命が五十歳といつてゐるわけではない。誰も行ったことのない天上の世界と比べれば、五十年はたしかに儂く短い、現実の世界ではそれなりの重みを持つ時間であると思う。時は金なりという。顧みて時間を有意義に過ごしたのかと自問すれば、忸怩たる思いが残る。

筆者はこの拙文を書きながら、万葉歌人・大伴旅人が大宰府で詠んだ和歌を思い出している。

生けるもの 遂にも死ぬるものにあれば 今の世なる間は 楽しくをあらな



佐藤末喜

昭和16年生
日新火災海上保険(株)を常務
取締役で退任、平成12年から郷
里大分に永住、無農薬野菜の栽
培の傍ら地方史の研究が趣味。

随筆

人間五十年

佐藤末喜

協会が創立五十周年を迎えられたとのこと、まことにおめでたい限りであり、心からお祝いを申し上げる。また広報誌である本誌が、創刊四十五号になるとのご同慶の至りであり、欣快にたえない。輝かしい創立100周年に向かって、次なる五十年が、名実ともに充実した稔り豊かな躍進の半世紀になれるよう、衷心より祈念する次第である。

日本が高度経済成長の時代に高層建築や道路整備などで、建設機械が社会資本整備に果たした役割は極めて大きい。今やその建設機械の需要の六十%強は、レンタル機の活用になってきていると言われている。建設機械のレンタル業務が、我が国の公共事業や災害復旧に大きな貢献を果たした事実は疑うべくもない。今後ますます果たすべき役割は増大していくであろう。

ところで、「高度経済成長はいつか」については諸説があるが、昭和三十年〜四八年までの一八年間とするのがどうやら定説のようである。協会が創立された昭和四一年は、まさに後期成長期の入り口に当たると。四一年から日本経済は実質成長率十%強の高度成長期に入り、国民の生活と意識は大きく変容し

た。「いざなぎ景気」の始まりである。この年には「3C」（カー、カラーテレビ、クーラー）が流行語となり、人々は生活水準の向上を強く望んでいた。この時の世相は、朝ドラの「ひよっこ」で、みね子が「すずふり亭」で演じる描写に再現されている。朝ドラといえば、「おはなはん」が五十%を超える平均視聴率で大ヒットしたのも昭和四一年であった。ついでのいえば今回の都議選で自民党大敗の要因の一つに挙げられる、加計学園騒動のもとをなす獣医学部は、四一年を最後に新設が認められていない。

同年の主だった動きを回想してみると、二月にソ連の無人探査機・ルナ九号が月面軟着陸、三月、日本の総人口が一億人突破、六月、ビートルズ来日、そして巷には加山雄三の「しあわせだな」（君といつまでも）が流行した。この年筆者は入社四年目の二五歳、まだ半人前の会社員、本社から遠く離れた四国・高松で悶々の日々を送っていた。もとより将来を予見する能力などなかったが、なんとなくこの国の未来が明るいと感じたことが記憶に残っている。

耐海水用 水中ポンプ

ツルミには海水による腐食を防ぐ防食技術があります。

「耐海水特殊鋼鉄」、「流電陽極」、「塗装」の組み合わせで、より優れた耐海水性能を発揮します。



モータシャフトを守る

新開発材質※



電気防食が困難なシャフトに防食効果を実現

羽根車へ新開発の「耐海水特殊鋼鉄」を採用。モータシャフトを防食します。

※ポンプ運転中のモータシャフトには、流電陽極による電気防食の効果は及びません。モータシャフトより若干低い電位を持っているため、モータシャフトを防食します。



設備用

腐食テスト 海水で1年間運転後の比較例(当社比)

羽根車の材質選定を誤った場合、下記写真2のようにモータシャフトが激しく腐食します。



写真1

SU4000製のモータシャフトに耐海水用樹脂塗装の羽根車を取付けた場合、(モータシャフトはほぼ腐食しません。)



写真2

SU4000製のモータシャフトにSU316製の羽根車を取付けた場合、(モータシャフトは激しく腐食します。)

耐久性を向上させる 防食塗装

「ジンクリッチプライマ」と「変性エポキシ樹脂塗料」の塗装により防食効果を高めます。

ポンプ本体を守る

電気防食



流電陽極

交換が簡単です。

長年の経験に基づく独自の防食設計により「流電陽極」を適正配置。ポンプ本体を防食します。



建設工所用

■各仕様一覧 用途に合わせて仕様を選べます

■ : 仕様変更部

仕様	A仕様	B仕様	C仕様	
材質	モータ本体	標準材質	標準材質	標準材質
	モータシャフト	SUS316	標準材質	標準材質
	ポンプ本体	標準材質	標準材質	標準材質
	羽根車	耐海水特殊鋼鉄	耐海水特殊鋼鉄	標準材質
塗装	ジンクリッチプライマ + 変性エポキシ樹脂塗料 3回塗り	ジンクリッチプライマ + 変性エポキシ樹脂塗料 3回塗り	標準塗装	
	電気防食	アルミ流電陽極または亜鉛流電陽極	アルミ流電陽極または亜鉛流電陽極	アルミ流電陽極または亜鉛流電陽極
流電陽極の交換周期の目安	2年毎	2年毎	1年毎	

株式会社 鶴見製作所

九州支店 TEL.(092) 452-5001

福岡営業所TEL.(092) 452-5001
熊本営業所TEL.(096) 380-2101

鹿児島営業所TEL.(099) 267-1521
大分営業所TEL.(097) 551-3466

宮崎営業所TEL.(0985) 22-2361
沖縄営業所TEL.(098) 879-6208

www.tsurumipump.co.jp

リスクはすぐそこに…

お見積り承ります。いつでもお気軽にご依頼ください。



会員の皆さまへ
協会専用商品で企業経営をガッチリガード
リース業総合保険
リース業者総合賠償責任保険 建機の動産総合保険

この広告に掲載の保険商品の詳細については、パンフレットをご覧ください。各社代理店または保険提供会社に直接お問い合わせください。

■ 協会の代理店

丸紅セーフネット株式会社
九州支店
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 丸紅ビル
ヒューリックビル内 電話 092-2248
TEL 092-711-2248
FAX 092-711-2248
http://www.m-h-net.co.jp

(02)17 東京支店

■ 協会の代理店

AIG損害保険株式会社
福岡プロチャネル営業部
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 丸紅ビル
ヒューリックビル内 電話 092-2248
TEL 092-718-7000

AIG損害保険株式会社・丸紅セーフネット株式会社

国土交通省「i-construction」完全対応
CATERPILLAR®の「ICT土工」建設機械

Photo:320E GNSS-3Dマシンガイダンス仕様

キャタピラー九州株式会社

〒810-0081
福岡県筑野市針市帯東3丁目6番1号
TEL 092-924-1211(代)
URL <http://kyushu.laneat.com>



キャタピラー九州株式会社

Denyo www.denyo.co.jp

いつでもどこでも頼れるあなたのパートナー
発電機・溶接機・コンプレッサのリース・レンタルは、最良の性能を誇るデンヨー製品で!

ディーゼルエンジン発電機

新登場 静音発電機 **Malte** 43dB(A)

おの検閲試験管理を迅速する静かさ。静音発電機「マリエ」新登場

25kVAクラス発電機 価格の比較

静音のボディ 溶接機

3年保証 DCA-25MZ

ガソリンエンジン溶接機

GAW-155ES GAW-190ES2

自動アイドリングストップ機能新登場

新登場のオートでさらに静寂! 燃費がさらに省けます

安全安心の防振機能

防雨・防塵機能

防食塗装

電気防鳥

株式会社 鶴見製作所

九州支店 TEL (092) 452-9001

福岡支店 TEL (092) 452-5001 鹿児島支店 TEL (099) 947-1021 松浦支店 TEL (0985) 72-7201
熊本支店 TEL (096) 355-7701 大分支店 TEL (097) 831-8888 長門支店 TEL (0954) 73-4008

www.fsir.jp/pump.co.jp

デンヨー株式会社

耐海水用水中ポンプ

ツルミには海水による腐食も防ぐ防食技術があります。

モーターシャフトを守る 新開発材質

腐食防止

電気防鳥

株式会社 鶴見製作所

九州支店 TEL (092) 452-9001

福岡支店 TEL (092) 452-5001 鹿児島支店 TEL (099) 947-1021 松浦支店 TEL (0985) 72-7201
熊本支店 TEL (096) 355-7701 大分支店 TEL (097) 831-8888 長門支店 TEL (0954) 73-4008

www.fsir.jp/pump.co.jp

株式会社鶴見製作所

広告掲載ご協力に対し、深く感謝申し上げます。
有り難うございました。



編集後記

あけましておめでとうございます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



昨年も九州ではいくつもの自然災害が起こりました。特に7月の九州北部豪雨災害では福岡県朝倉市、東峰村や大分県日田市を中心に非常に多くの被害がでました。復興はまだまだこれからですがみんなで応援していきたいと思えます。

一方、私どもの協会は51年前に友清商店、西日本建設資材（現ニシケン）、福岡建設機械、稲尾産業の4社会から建設機械貸与会社として始まり、その後多くの方々の努力と協力により今まで活動して

ることができました。その協会創立50周年の記念事業を昨年6月熊本で行い、多くの会員、賛助会員の方々にご出席いただき一緒に祝う事ができました。みなさまのご厚情に心より御礼申し上げます。

最後になりますが、ご寄稿、広告に協賛いただきました会員各位に対し御礼申し上げます。

また、皆様からのご意見等ございましたら、是非お寄せいただきますようお願い申し上げます。

表紙

熊本城復興中



「がまだせ! 熊本」

「レンタル九州」45号

発行日 平成30年1月1日
発行者 一般社団法人日本建設機械レンタル協会九州支部
福岡市博多区博多駅東2-9-1
東福第2ビル6階
〒812-0013 TEL 092-482-6685
FAX 092-452-2563
発行責任者 広報委員長 伊豆隆夫
印刷 (布)アド・ワン
福岡市東区松田3丁目9-2-205
〒812-0064 TEL・FAX 092-621-2199

いつでもどこでも頼れるあなたのパートナー

発電機・溶接機・コンプレッサのリース・レンタルは、抜群の性能を誇るデンヨー製品で!

ディーゼルエンジン発電機

新登場

静音発電機
マーリエ

Mālie

驚異の低騒音
43dB(A)*



あの極超低騒音型を凌駕する静かさ。
静音発電機 マーリエ 新登場

*音圧レベル・50Hz 無負荷時
7m四方方向平均値

25kVAクラス発電機 騒音の比較



3電源仕様

DCA-25MZ

発電出力[50/60Hz]:
単相3線式100/110・200/220V 11.5/14.4kVA
三相4線式200/220V・400/440V 20/25kVA

独自のボディ構造



可倒式フロントパネル



スライド式サイドドア

ガソリンエンジン溶接機

GAW-155ES&190ES2共通の特長

自動アイドリングストップ機能標準装備



無段階θモードでさらに低燃費!

負荷に応じた最適なエンジン回転数に制御することで、燃費がさらに良くなります!

万全の安全対策機能

- 電撃防止機能付(ON/OFF切替可能)
- 短絡継続保護機能で、溶接棒の赤熱事故を防止します。

垂下特性/定電流特性切替

ワンタッチでお好きな溶接特性に切替できます。

クラス最大
最大溶接電流
155A!



GAW-155ES

溶接電流範囲:30~155A
溶接棒:φ2.0~3.2mm
交流電源:単相100V 3.0kVA

クラス最大
最大溶接電流
190A!



GAW-190ES2

溶接電流範囲:30~190A
溶接棒:φ2.0~4.0mm
交流電源:単相100V 3.5kVA

国土交通省「i-construction」完全対応

CATERPILLAR®の「ICT土工」建設機械

CAT®のICT建機とクラウドソリューション「VisonLink」による現場革命



Photo:320E GNSS-3Dマシンガイダンス仕様

キャタピラー九州株式会社

〒818-0081
福岡県筑紫野市針摺東3丁目6番1号
TEL 092-924-1211(代)
URL <http://kyushu.jpncat.com>

キャタピラー九州





リスクはすぐそこに…

お見積り承ります。いつでもお気軽にご依頼ください。



会員の皆さまへ

協会専用商品で企業経営をガッチリガード

リース業総合保険

リース業者総合賠償責任保険／建機の動産総合保険

この広告に掲載の保険商品の詳細につきましては、パンフレットをご覧いただくか、取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

■取扱代理店

 丸紅セイネット株式会社

九州支店

【平日9:15~17:30／土・日・祝日、年末年始を除く】

福岡県福岡市中央区天神2-8-49

ヒューリック福岡ビル9階 〒810-0001

TEL 092-711-2248

<http://www.m-inc.co.jp>

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

福岡プロチャネル営業部

【平日9:00~17:00／土・日・祝日、年末年始を除く】

福岡県福岡市中央区大名2-4-35

富士火災福岡ビル 〒810-8637

TEL 092-718-7000

進化する諸岡の運搬車

キャリアダンプ（不整地運搬車）



MST-2200VDR

- 最大積載量11t
- 360° 全旋回型
- 国内排ガス規制2014年基準

※その他 2.5t ~ 11t 積載まで豊富なラインナップ

MST-800VDL

- 最大積載量5t
- グラップルオプション
- 国内排ガス規制2011年基準

※その他 2.8t ~ 7t 積載まで豊富なラインナップ

フォワーダ（林内作業車）



クローラフォークリフト



MFD-20

- 最大積載荷重2t
- 国内排ガス規制2014年基準

メガソーラ現場の資材運搬や田畑での収穫作業に。

信頼の完成度、クボタラインナップ。

乗用車感覚の操作性・快適性

R SERIES



R430E

R630E

狭い現場で機敏に働く、
超小旋回機。

RX SERIES



RX-153S

RX-306E

RX-506

フィールドを選ばない、
頼れる後方小旋回機。

U SERIES



U-17

U-30-6

U-40-6E

株式会社クボタ建機ジャパン

本社 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1-1-1
TEL 06-6470-6200

<http://www.kubotakenki.co.jp>

九州営業部 TEL 092-503-3802
福岡営業所 TEL 092-503-8738
長崎営業所 TEL 0957-23-4144
熊本営業所 TEL 096-358-6100
玉名出張所 TEL 0968-57-3535

八代営業所 TEL 0965-35-1336
大分営業所 TEL 097-521-6485
宮崎営業所 TEL 0985-53-0788
鹿児島営業所 TEL 0995-73-7917



YANMAR

繊細な操作も、思うままに、しなやかに。

ViO80-1B

(ViPPS2i 搭載)



This is the MINI's Performance

ヤンマーが誇る世界最高性能のディーゼルエンジン。そして、8tクラス業界初となる新油圧システムViPPS2i。この二つを導入することで、従来機よりも優れた作業性を実現しました。さらに燃費を従来より20%低減し、国土交通省の燃費基準を100%達成。三つ星を獲得しました。8tクラスでありながらブームスイングとブレードを標準装備している上、車体後部が車幅からはみ出さない後方小旋回油圧ショベルであり、壁ぎわぎりぎりの作業も後ろを気にせず作業ができます。さまざまな現場で活躍する、ハイパフォーマンスな商品です。

※実際の販売モデルと形状が異なる場合がございます。



Create the city of your dreams あなたが夢みるどんな街づくりも、ヤンマーで。

ヤンマー建機株式会社 〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野1717-1 TEL:0570-064360 (ヤンマー建機お問い合わせ窓口)

- 九州営業部/福岡支店 〒812-0857 福岡県福岡市博多区西月隈1丁目5-8 TEL.092-441-0928 FAX.092-474-6500
- 久留米営業所 〒839-0809 福岡県久留米市東合川2-2-20 TEL.0942-43-1115 FAX.0942-44-3994
- 長崎営業所 〒854-0066 長崎県諫早市久山町1365-3 TEL.0957-26-7522 FAX.0957-26-7472
- 熊本支店 〒869-0419 熊本県宇土市新松原町字佐野免150-2 TEL.0964-23-3267 FAX.0964-23-3538
- 大分営業所 〒870-0954 大分県大分市大字下郡中央3丁目2-13 TEL.097-569-7211 FAX.097-569-7230
- 宮崎営業所 〒880-0836 宮崎県宮崎市山崎町八百羊田1123 TEL.0985-30-2663 FAX.0985-30-2665
- 鹿児島支店 〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町4-66 TEL.099-260-4011 FAX.099-260-2102

YANMAR Construction Equipment

since 1914

yanmar.com